

国際ロータリー第2620地区
静岡第5クラブ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

週報 パワー浜松ロータリークラブ

親睦と奉仕の扉へ

RI 会長 ホルガー・クナーク/第 2620 地区がバナー 志田洪顯 /会長 中野敬司 /幹事 村田誠

〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800

Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



ロータリーは機会の扉を開く



第848回例会4月13日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：廣瀬隼人 村木則予
- 点鐘：中野敬司
- 週報：松島弘明
- ゲスト：米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 76 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 61 名 出席率 81.33%

- ①中野敬司会長
- ②高橋邦明会員
- ③牛田 悟会員

会長挨拶

おはようございます。米山記念奨学生の陳さん、今朝で 2 回目の例会出席ですね。朝早いですが少しずつ慣れていってくださいね。

さて今回は毎月配布される雑誌「ロータリーの友」について話します。

胸を張っては言えないのですが、我が家の本棚はまさに「積ん読」という状態でして…溜った 2 年分の「友」を、日曜日に目を通してみました。

各ロータリーの周年事業等での記念講演、全国のロータリアンの紹介、卓話紹介、さまざまな奉仕活動の状況、米山奨学会、学友会、等々。会長になる前に沢山読んでおくべきだったのかもしれない。

最近では「ポールハリスとロータリー」という連載コミックで、ポールハリスの生い立ちから始まり、ロータリーの歴史をわかりやすく表現しています。肩の張らない面白い雑誌だな、と再認識しました。

ロータリーの歴史 2 年分の記事に触発され、幾ばくか私のロータリー歴が思い起こされました。クラブに入会し最初に配属されたのが国際奉仕部会。とても楽しかった事を憶えています。

もしその頃にこの雑誌を読んでいたら、当時の自分に変化はあったのだろうか？と思いました。その後の遍歴は、と言えば…会計をやらされ、年上の人に愚痴をこぼすと「クラブ内奉仕なんだから」と慰められたり、会場監督をした時は「例会においては会長より権限がある」と言われながらも、度々文句を言われたり。また、出席部会に任命された年の冬は暗くて寒くて…！ 広報委員会は週報の作成が大変だなんて思いました。

「ロータリーの友」を何冊か読んでいくうちに、対外的な奉仕活動の記事は沢山あれど、クラブ内奉仕について書かれた記事が少ない様に思いました。自分が各部会・委員会を経験することで、実際に担当する事業の苦労や、クラブ運営の大変さを少し覗かせてもらったと思います。

今日は私のような「積ん読」状態の方に、時間をちょっと作って「ロータリーの友」を読んでみませんか、というお誘いでした。

この後は、地区大会で流す各クラブの紹介動画の撮影をします。スピーディーな移動をお願いします。それと、今朝の BGM は鈴木孝尚さん提供のユーミンでした。ありがとうございました。

幹事報告

- ①例会終了後に次年度の予定者会議が行われますので、対象者は出席をお願いします。
- ②4 月 27 日(火)に理事会が行われます。今年度最後の議案提出日になります。
- ③4 月 20 日(火)に役員会が行われます。例会は休会ですがお間違いないようにして下さい。
- ④今年の地区大会に向けての動画撮影をこの後、行います。5 月 29 日(土)に地区大会が行われますが、会長・幹事・新会員・地区役員が出席、その他の会員はリモート参加となります。

委員会報告

- ①財団プログラム部会 松本由紀彦会員
4 月 24 日(土)に子供未来プロジェクトで行われるスナッグゴルフですが、クラブ T シャツとスニーカー着用にて参加をお願いします。又、コロナ対策として地面に敷くシートを用意して下さい。今年度の役員は子供達への指導をお願いします。

議 事

クラブ広報委員会
「触法障がい者を減らす取り組み」

安間孝明会員による卓話

※詳細は次ページへ

議 事

クラブ広報委員会

「触法障がい者を減らす取り組み」

安間孝明会員による卓話

青少年育成の中には、障がいのある人も含まれます。受刑者の中には IQ70 以下の方が 50%存在し、受け皿になる事業所が少ないために累犯を繰り返すという現実が起こっています。

安間孝明会員は脳性小児麻痺のまた従姉との出会いによって、人間存在の意味を考えさせられ福祉の道を志されました。福祉大学卒業後、重度知的障害者の厚生施設に勤務したが、画一的福祉・依存的福祉のあり方に疑問を覚え、2004 年に奥様とキリスト教会コミュニティドジャパン浜松を始められました。

その後、教会を母胎として NPO 法人トータルケアセンターを設立し、4 人の障害のある人たちと軽作業を始められます。

現在、浜松市内の 5 つの事業所に 120 人ほどが仕事をしており、11 箇所のグループホームに 40 人ほどが生活しています。自宅の 2 階には統合失調症の方、5 人がお住まいになっています。

生活支援の仕事を通じて、自分は社会の役に立っている、自分の作った製品が社会で使われているという自己肯定感こそが最良の薬であり、自尊心の再構築を目指され活動を行われています。

安間孝明会員卓話



②高橋邦明会員

この度、会社の人事異動で富山に転勤することになりました。

温かく迎え入れて頂き 3 年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

今後の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

③牛田 悟会員

昨日、4 月 12 日に浜松助信郵便局が浜松高林郵便局に新築移転オープンしました。

オープニング式典には中野会長にご列席いただき、テープカットをしていただきました。

ありがとうございました。

これからも、いつもニコニコ笑顔で皆様をお出迎えます。

御用が無くてもお立ち寄り下さい。今後とも宜しくお願いいたします。

中野敬司会長挨拶



集合写真



スマイル報告

①中野敬司会長

4 月 7 日は孫娘の小学校の入学式でした。

翌八日は初めての登校日に緊張した様子を娘がラインで送ってきました。

すくすく成長してもらいたいです。